

2024年1月22日

2023年度 学校関係者評価報告書

学校法人森ノ宮医療学園
森ノ宮医療学園専門学校
自己点検・評価委員会
学校関係者評価専門部会委員会

学校法人森ノ宮医療学園 森ノ宮医療学園専門学校 自己点検・評価委員会 学校関係者評価専門部会委員会は、2022年度自己点検・自己評価報告書に基づき、以下のとおり学校関係者評価を実施いたしました。

1. 学校関係者評価専門部会委員（「森ノ宮医療学園専門学校 学校関係者評価に関する自己点検・評価委員会規程施行細則」による選出区分）

- ・鍼灸師または柔道整復師関連団体役員（同施行細則第4条第1項第2号）
廣野 敏明 氏（公益社団法人大阪府鍼灸マッサージ師会会長）
川口 靖夫 氏（公益社団法人大阪府柔道整復師会副会長）
- ・本校卒業生（同施行細則第4条第1項第3号）
赤丸 敏行 氏（森ノ宮医療学園専門学校卒業生）
- ・本校に在籍もしくは卒業した学生の保護者または保証人（同施行細則第4条第1項第4号）
浜田 暁 氏（森ノ宮医療学園校友会会長）

2. 基準項目ごとの学校関係者評価・意見

- 開催日時：2024年1月21日（日）14時00分～15時15分
- 開催場所：森ノ宮医療学園専門学校 理事長室
- 出席委員：廣野敏明、川口靖夫、赤丸敏行、浜田暁（敬称略）
- 欠席委員：なし
- 陪席者：清水尚道（校長）、松下美穂（校長補佐）、由良拓巳（教務課長）、
矢納秀司（学務課長）

《基準1 教育理念・目的・育成人材等》評価結果：適切である。

- ・日本一の実技教育を謳っているが、学生の反応はどうか。
- ・オープンキャンパスで練習量の多さを伝えているが、むしろそのことが入学の決め手になったと言ってくれている。
- ・親の立場から言えばたくさん勉強させていただく方がうれしい。

《基準2 学校運営》評価結果：適切である。

- ・ダブルライセンスを前面に出した方が良いのでは。
- ・薬剤師などにも入学してもらえればよい。

- ・昔は薬剤師や歯科医師などにも入学していただいていた。
- ・現在も少ないが入学してもらっている。看護師などもおられる。
- ・看護師は割とおられる印象だ。
- ・訪問看護に従事している方などは鍼灸に興味があるようだ。
- ・かつては鍼灸から柔整という流れだったが、現在は柔整から鍼灸という流れになっている。

《基準3 教育活動（鍼灸学科）》評価結果：適切である。

- ・通信教育とはどういったものか。
- ・心理学や生活習慣などに関するもので、人間総合科学大学と提携し実施している。
- ・自身でテキストを読む形であれば、むしろ授業を受けるよりも大変なのではないか。
- ・あまり苦勞はしていないようであった。
- ・何度か試験を受けるチャンスはある。
- ・卒後に鍼灸整骨院を見学に行った学生からは有益であったとの感想を得ている。
- ・40代以上になると就職が難しくなっているのではないか。
- ・1年生から治療院の見学を行っているとのことだが、協力できることがあれば協力したい。
- ・在校中から見学に行った方が卒後研修もスムーズに進むのではないか。
- ・附属鍼灸院だけではなく、できる限り外部治療院も見学した方が良いのではないか。
- ・1年時から業界について案内してはどうか。
- ・見学も長すぎると大変なので90分程度が良いのではないか。
- ・真面目な学生ほど見学に一生懸命になりすぎて気疲れするのかもしれない。

《基準3 教育活動（柔道整復学科）》評価結果：適切である。

- ・業界のことをどこまでわかった上で入学しているか疑問だ。
- ・本来の柔道整復師とはこういうことを行っているということをできるだけ授業に織り込みたい。
- ・学生がノートを取らなくなっている。
- ・Teamsでの資料配布の影響もあるかもしれない。資料は配信しているが授業中のスライド等は配信していない。

《基準4 教育成果》評価結果：適切である。

《基準5 学生支援》評価結果：適切である。

《基準6 教育環境》評価結果：適切である。

- ・新たに購入した土地は有効活用してほしい。
- ・現在は実習や演習で使用する運動場として活用している。

《基準7 学生の募集と受け入れ》評価結果：適切である。

- ・かつてと比べて地方から入学してくる学生が減っているのではないか。

《基準 8 財務》評価結果：適切である。

《基準 9 法令等の遵守》評価結果：適切である。

《基準 10 社会貢献》評価結果：適切である。

以上